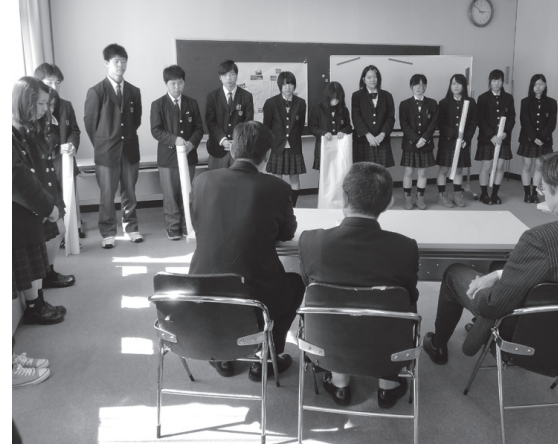


地域を知る・地域とつながる

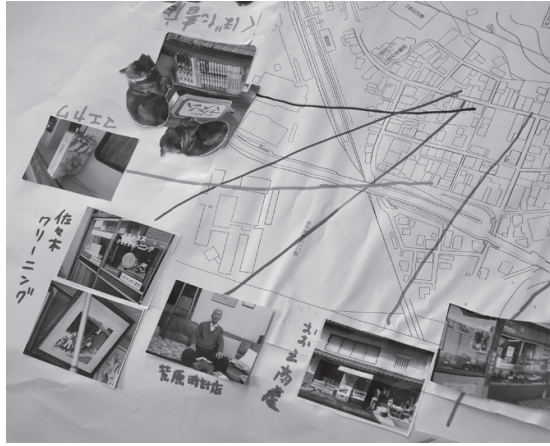
日野高校活動紹介

「根雨街道てくてくインタビュー」報告会について

日野高等学校 教諭 尾古 一典



▲自分たちの言葉で報告しました



▲生徒たちの手で作られた根雨の地図

3月17日に行われた「根雨街道てくてくインタビュー」の結果をまとめ、4月21日に日野町役場で、日野町長、副町長、教育長、企画政策課長、日野振興センター参事を招き、報告会を開きました。

2、3人のチームに分かれ、質問ごとにインタビューした内容を模造紙にまとめ、チームごとに報告しました。生徒からは「いつごろから人口が減っていったんだらうか」「若い人が町に定着するにはどうしたらいいだろうか」などの報告がされ、実際に町を歩き地域の方から話を聞いただけに、以前よりも地域に関心を持ったようです。

報告会后、短時間ではありましたが、根雨のまち活性化策を考えました。そこでは、「自然を利用した体験施設を作る」「根雨の町を職人の町にして人を残す」「ゆるキャラを作る」など、いろいろなアイデアが出てきました。今後は、具体的な活性化策を町長に提案できると、考えをまとめていきたいと思います。

5月13日、前日の雨がウソのように晴れ上がった空の下、日野高校アグリライフ（農業）系列2年生と、黒坂小学校1、2年生の児童が、サツマイモの苗植えて交流しました。



▲さあ、ご対面～

黒坂キッズと日野高生がサツマイモ植えて交流

日野高校魅力向上コーディネーター 片平 誓子

ですが、小学生の前だと一人前の大人の顔になっていました。さりげなく頭をなでたり、まるで父親？のようにおぶったり。そばで見ている私たちも、心が温かくなる光景でした。別れるときの名残惜しうだったこと！これから年末まで、同じ生徒と児童のグループでいろいろな農業体験を行います。その間に、彼らはおつとつながりを深めていくことでしょう。



▲こうやって植えるんだよ

農作物を育てる楽しみと、それを収穫する喜びとともに、高校生と小学生も大きく成長していくことと思います。この交流は、一生の思い出になるでしょう。

5月の終わりからは、田植えを通じた交流も行います！これからも、黒坂アグリライフから目が離せませんね！

平成27年度事業計画などを決定

日野町人権・同和教育推進協議会 総会

4月28日、山村開発センターを会場に自治会長の皆さんや各種組織、関係団体の代表者など会員65人が出席し、町人権・同和教育推進協議会の平成27年度総会を開きました。

はじめに、同協議会長の景山享弘町長が「都会では、ヘイトスピーチが横行し、差別を禁止する法律がないため、警察官も取り締まれない状況にあります。また、インターネットでの誹謗中傷など、書い

た人の顔が見えないことを良いことに増長し、自殺やいじめの原因となり、大きな社会問題となっています」と話し、「今年度の運動方針を決定し、本協議会から差別を根絶し、私たちもしっかり学習して、誰もが暮らしやすい日野町になることを望みます」とあいさつ。

議事を審議して決算、事業計画・予算の承認を行いました。

● 決算、事業計画・予算案を承認

主な内容は次のとおりです。

【26年度事業実績】

- ・町人権啓発および第39回人権・同和教育研究集会は10月3日開催、155人が参加
- ・小地域座談会は過去最多の44自治会で開催、409人が参加
- ・町民人権講座は3回開催、157人が参加
- ・鳥取県研究集会や全国大会などへの参加、広報紙「人権のまち”ひの”」の発行啓発活動など

【26年度決算】

- ・収入総額 335,409円（町補助金 335,000円ほか）
- ・支出総額 334,988円
（部会の研修費ほか 15,120円、町人権・同和教育研究集会の開催、県研究集会や全国大会参加費 272,728円、事務費その他 47,140円）

【27年度推進目標】

『高齢化社会の人権尊重の地域づくりへの成果』を暮らしの中で、具体的な人権課題の追求と解決への研究を深め、普遍的な人権意識の形成へとつなぎ、次代の人権文化社会の創造を目指して教育・啓発を推進する。

- （重点施策） ①人権・同和教育研究集会の開催 ②小地域座談会の開催および推進者の養成
③部会研修の充実 ④人権講座の開催

【27年度事業計画】

- ・町人権啓発講演会および第40回人権・同和教育研究集会（10月2日予定）
- ・小地域座談会の開催（全自治会）および推進者養成講座の開催（2回）
- ・町民人権講座の開催（4回）
- ・鳥取県研究集会ほか町外研修会などへの参加
- ・啓発紙『人権のまち”ひの”』の発行
- ・各部会研修の実施

【27年度予算】

- ・収入総額 400,500円（町補助金ほか）
- ・支出総額 400,500円
総会役員会費 3,000円（総会・役員会資料）
部会費 53,000円（各部会研修講師謝金）
啓発研修費 293,000円
（町研究集会講師謝金、各種研修会参加費ほか）
事務費ほか 51,500円
（県人権教育推進協議会負担金、通信運搬費ほか）

第1回町民人権講座 開催『個人情報と人権～暮らしの中のプライバシーを考える～』

総会后、鳥取県人権文化センター専任研究員の太田和宏さんを講師に招き、講演を行いました。

「人権」とは、人がひとりの人間として尊重され、自由に豊かに幸せに生きようとする努力を支えるもの（権利）。そして、「プライバシー」とは、個人や家庭内の私事や私生活の様子・個人の秘密で、それが他人から干渉・侵害を受けない権利であり、災害時の要援護者支援など、いくつかの例をあげて、2人1組で情報を公開しても許されるか許されないかの判断を参加者が考えるゲーム方式で、講演が進められました。

太田さんは「個人情報漏えいすると財産を奪われたり、事件・事故に巻き込まれる危険性が増えることや、災害時の情報をどこまで共有するか状況に応じて判断することの大切さ」を強調しました。



▲ 太田さんの話に関心する参加者